

「野迫川村で道普請」報告書



2011年の台風12号により、野迫川村では世界遺産に登録されている熊野古道小辺路の他、昔からの生活道が崩れたり、傷んだりしてしまいました。社会人と大学生が、これらの道の修復作業（道普請）に汗を流しました。

行先 奈良県 野迫川村

実施日 第1回 2015年6月27日(土)～6月28日(日)

【1】企画・活動の経緯

この事業は、2011年9月、台風12号により被害を受けた奈良県野迫川村の熊野古道復興支援をテーマに、近畿労働金庫、特定非営利活動法人 奈良 NPO センターが主催し、奈良県労働福祉協議会、全労済奈良県本部、市民生活協同組合ならコープ、奈良教育大学ボランティアオフィスの協力プロジェクトとして実施しました。また、野迫川村役場、特定非営利活動法人 結の森倶楽部、ホテルのせ川には、当日実際に作業を行う場所の決定や、案内、道具やお弁当の手配などのご尽力いただきました。

【2】活動当日

〈第一次隊活動〉

1. 日時 : 平成27年6月27日(土)、28日(日)
実施場所 : 野迫川村(小辺路、村内生活道)
参加人数 : 27名 学生…2名、社会人…25名

〈第1日目 6月27日(土)〉

8:00 順次近鉄奈良駅、JR奈良駅、近鉄大和八木駅に集合。バス乗車。



11:20 野迫川村役場到着。
まず野迫川村長にごあいさつをいただきました。
その後、ホテルのせ川にご用意していただいた昼食をいただきました。

13:00 村内移動・作業現場着
小辺路の入り口に着き、早速作業開始。昨年度も作業したところで、また崩れていたり、石が山積みになっている道を、みなで修復していきました。小辺路を2か所、生活道1か所の計3か所を整備しました。



16:30 作業終了・ホテルのせ川着
かなりハードな作業でしたが、みな熱心に取り組みました。ホテル到着後は各自部屋でリラックスしたり、温泉に入ったりしました。

17:30 夕食

かしき鍋に舌鼓をうちました。おいしい料理を通して、参加者の仲をより深めることができました。



18:30 大股地区の蛍を見に行きました。雨のあとだったので、蛍がいるかどうか気でしたが、5匹ほど乱舞しているのを見ることができました。光がフワフワと舞う様子はとても幻想的で、時がたつのも忘れて見入りました。

19:30 ミーティング

「野迫川の祭り」についてのビデオを見ました。参加者それぞれの自己紹介の後、各々交流を図りました。



21:00 自由行動、就寝

<第2日目 6月28日(日)>

6:30 起床・朝食

8:30 ホテル野迫川 出発

8:50 作業開始

前日とは違う生活道を整備していきました。狭くなっていた道を鍬を使って広げていきました。大変な作業でしたが、みなで力を合わせてふかふかの歩きやすい道へと変えていきました。



11:50 作業終了・村内移動

12:10 昼食・入浴

13:20 野迫川村観光

津田さんのあまご養殖場を見学し、鶴姫公園へ



行き、その後荒神社でお参りをしました。

15:10 出発

18:00 奈良市内帰着。

2. 参加者のコメント

二日間の活動を通して、以下のようなコメントをいただきました。



「小辺路にも興味を持っており、少しでもお役に立てたことが楽しく思います」

「名前も顔も初めての方々と道普請という作業・目標に取り組めて、普段自分の職場では経験できないことができて良かったと思います」

「はじめはどんな作業をするのかよくわかっていなかったのですが、不安な気持ちもありましたが、参加者が一丸となって古道を整備していくのはとても気持ちよかったです。スタッフの方や参加された方との交流も道普請の楽しみであると思うので、今後もこの活動を広められたらと思いました」

「(昨年) 12月の道普請では2日目しか作業できなかったのですが、今回2日間とも作業できて良かったです。天候のことを踏まえて、今年は6月と10月に実施したことは良かったと思います。作業用の鍬(長い方)をもう少し多く用意していただけたら良かったと思いました」

「あっという間に道が完成していくのを見て、人の和の力のすごさを実感しました。本当に良い経験ができたと感じています」

「人が温かいと率直に思いました。人とのつながりも深く、野迫川村をとっても好きであることも良く伝わってきました。作業は大変な時もありましたが、役に立てて良かったです。大自然の素晴らしさにも実感することができました」